

## 議題 1 『より効果的な健康診断の実施に向けて』

---

---

# 目次

- ◆はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 P
  
- ◆岩手支部における健康診断の実施状況について・・・・・・・・ 5P
  - I 被保険者（40歳以上）の健康診断・・・・・・・・ 6P
  - II 被扶養者（40歳以上）の健康診断・・・・・・・・ 16P
  - III 被保険者+被扶養者合計（40歳以上）・・・・・・ 20P

## ◆はじめに

### 【健康診断の種類とその内容について】

#### 特定健康診査

平成20年（2008年）4月より始まった40歳～74歳までの**公的医療保険加入者全員を対象とした制度**です（高齢者の医療の確保に関する法律第18条、国民健康保険法第82条）。

健診の項目は平成19年厚生労働省令第157号第1条に規定されております（詳細はパンフレット参照）。

実施主体は各保険者ですが、協会けんぽでは、被保険者と被扶養者で運用が異なっております。

■ **被保険者**・・・生活習慣病予防健診を受診いただくか、事業者健診データを提供いただくことにより、実施率としてカウントしています。

■ **被扶養者**・・・会社で受診する機会がないことから、受診券を配布して、医療機関などで受診します。

#### 事業者健診（定期健康診断）

労働安全衛生法66条に規定があり、「事業者は、労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、医師による健康診断を行わなければならない。」と規定されています。そして、労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）44条には、「事業者は、※常時使用する労働者に対し、1年以内ごとに1回、定期的に、次の項目について医師による健康診断を行わなければならない。」と規定されています。

【項目(一般)】 1.既往歴及び業務歴の調査 2.自覚症状及び他覚症状の有無の検査 3.身長、体重、腹囲、視力及び聴力の検査  
4.胸部エックス線検査及び喀痰検査 5.血圧の測定 6.貧血検査 7.肝機能検査 8.血中脂質検査 9.血糖検査  
10.尿検査 11.心電図検査

実施主体は事業主ですが、労働者にも受診義務があります。

#### ※常時使用する労働者とは？

1週間の所定労働時間が当該事業場の同種の業務に従事する通常の労働者の1週間の所定労働時間の4分の3以上である場合には、「常時使用する労働者」に該当する。よって、協会けんぽの被扶養者は「常時使用する労働者」には当たらない。

なお、所定労働時間の2分の1以上は、健診を受診させることが望ましいとされています。

## 生活習慣病予防健診

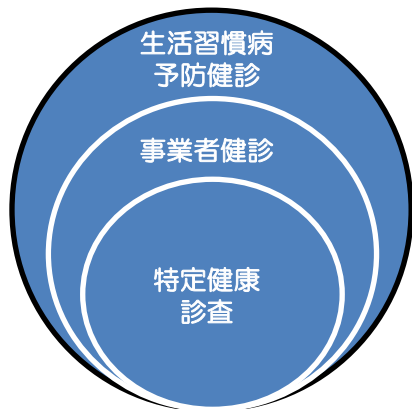
健康保険法150条の定めにより、協会けんぽが実施主体として被保険者35歳～74歳に対して、年に1回の補助事業として行う健診事業です。

健診の項目は、特定健診及び労働安全衛生法で定められた事業者健診の検査項目（一般的なものに限る）を網羅しており、また、胃・肺・大腸がん検診がセットになっています。さらには、対象年齢の方は眼底検査や肺機能検査などの付加健診、また、女性の方で対象年齢の方は乳がん・子宮がん検診も受診できるなど、非常に受診項目が充実しております。

生活習慣病予防健診には、協会けんぽからの補助があるため、事業者健診とほぼ同程度の金額で受診でき、また、その検査項目は、労働安全衛生法に定められている事業者健診（定期健康診断）の一般項目を網羅しており、多くが会社の健診として利用されています。

また、利用されていない加入事業所に対しては、切り替えを推進しております。

### 各種健診のイメージ



#### ○各種健診の比較について

- ・特定健康診査はメタボリックシンドロームに着目しているため、服薬歴や喫煙について必須項目となっているが、聴力・視力などは実施不要である。
- ・事業者健診は、業務に関係する検査が中心であるため、服薬歴や喫煙歴は不要。一方、視力・聴力のほか、業務歴・胸部レントゲンや心電図などが必須項目となっている。
- ・生活習慣病予防健診は、定期健診の一般項目及び特定健康診査の検査項目を網羅している。協会けんぽからの補助があるため健診費用が安価で、かつ全国の指定医療機関で受診可能。

**健診項目が多く費用の安い生活習慣病予防健診の受診を推進。**

▶生活習慣病予防健診と事業者健診との項目等の比較については次ページをご覧ください。

# 生活習慣病予防健診と事業者健診（定期健診）の比較

## 制度内容等の比較

	生活習慣病予防健診 (一般健診)	事業者健診 (定期健診)
目的	加入者の健康の保持増進や生活習慣病の発症や重症化を図るため	働く人が健全な職業生活を送るため、病気の早期発見・早期治療のため
対象者	35～74歳の被保険者	常時使用するすべての労働者
実施回数	年度ごとに1回補助	年1回以上 ※特定業務（坑内労働・深夜業等の有害業務）に常時従事する労働者に対しては6ヶ月に1回
実施主体	協会けんぽ	事業主
根拠となる法律	・健康保険法 ・高齢者の医療の確保に関する法律	労働安全衛生法
自己負担額 (費用の目安)	最高7,038円 (健診実施機関により異なります。)	健診実施機関との契約で決定
費用の補助	最大11,484円	なし
最低健診項目数	約31項目	約22項目

### 【ポイント①】健診費用を協会けんぽが補助

生活習慣病予防健診は、約18,500円の健診ですが、協会けんぽから**約6割の補助**があるため、自己負担額**上限7,038円で受診いただくことが可能**です。

### 【ポイント②】検査項目が充実

生活習慣病予防健診は、検査項目の中の必須項目が事業者健診より多く、**事業者健診の代わりとして受診いただくことが可能**です。

また、生活習慣病予防健診は、「**がん検診**」(大腸がん、胃がん、肺がん等)も**セット**されています。

### 【ポイント③】健診後のフォローが充実しています

生活習慣病予防健診の受診後、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による効果が多く期待できる方に対して、食事や運動のアドバイスを行う「**特定保健指導**」を実施しています。

### 【ポイント④】インターネットによる申し込みが可能

## 検査項目の比較

検査項目		生活習慣病予防健診 (一般健診)	事業者健診 (定期健診)
身体計測	身長	○	●1
	体重	○	○
	BMI	○	○
	腹囲	○	●2※
	血圧	○	○
	視力	○	○
	聴力	○	○
問診		○	○
診察		○	○
脂質	総コレステロール	○	
	中性脂肪	○	●2
	HDLコレステロール	○	●2
	LDLコレステロール	○	●2
肝機能	GOT	○	●2
	GPT	○	●2
	γ-GTP	○	●2
	ALP	○	
代謝系	空腹時血糖【もしくは随時血糖（3.5時間以上）】	○	●2
	尿糖	○	○
	尿酸	○	
尿腎機能	尿蛋白	○	○
	潜血	○	
	血清クレアチニン	○	
血液一般	ヘマトクリット値	○	
	血色素測定	○	●2
	赤血球数	○	●2
	白血球数	○	
心電図検査		○	●2
胸部レントゲン検査		○	○※
胃部レントゲン検査		○	
便潜血検査		○	

※特定健診のデータとして必要な場合は、服薬歴、喫煙歴等が必要。

●1：20歳以上の者は医師の判断で省略可  
●2：40歳未満（35歳除く）の者は医師の判断で省略可  
※：一定条件を満たせば省略可

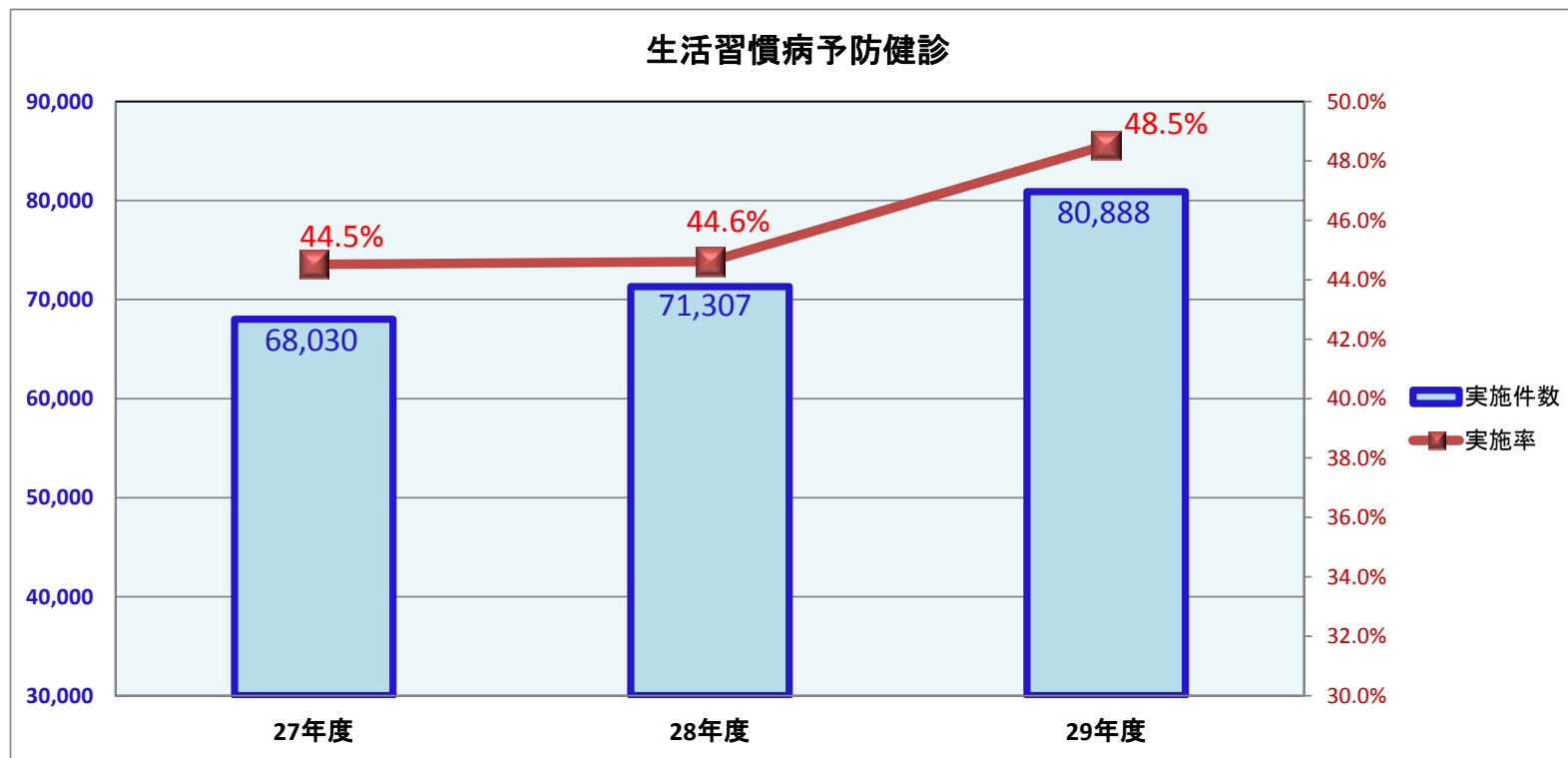
◆岩手支部における健康診断の  
実施状況について

# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 1. 生活習慣病予防健診

### ●生活習慣病予防健診の年次推移

年度	対象者数	目標数	実施件数	実施率	目標達成率
27年度	152,832	67,000	68,030	44.5%	101.5%
28年度	159,843	70,800	71,307	44.6%	100.7%
29年度	166,686	78,760	80,888	48.5%	102.7%



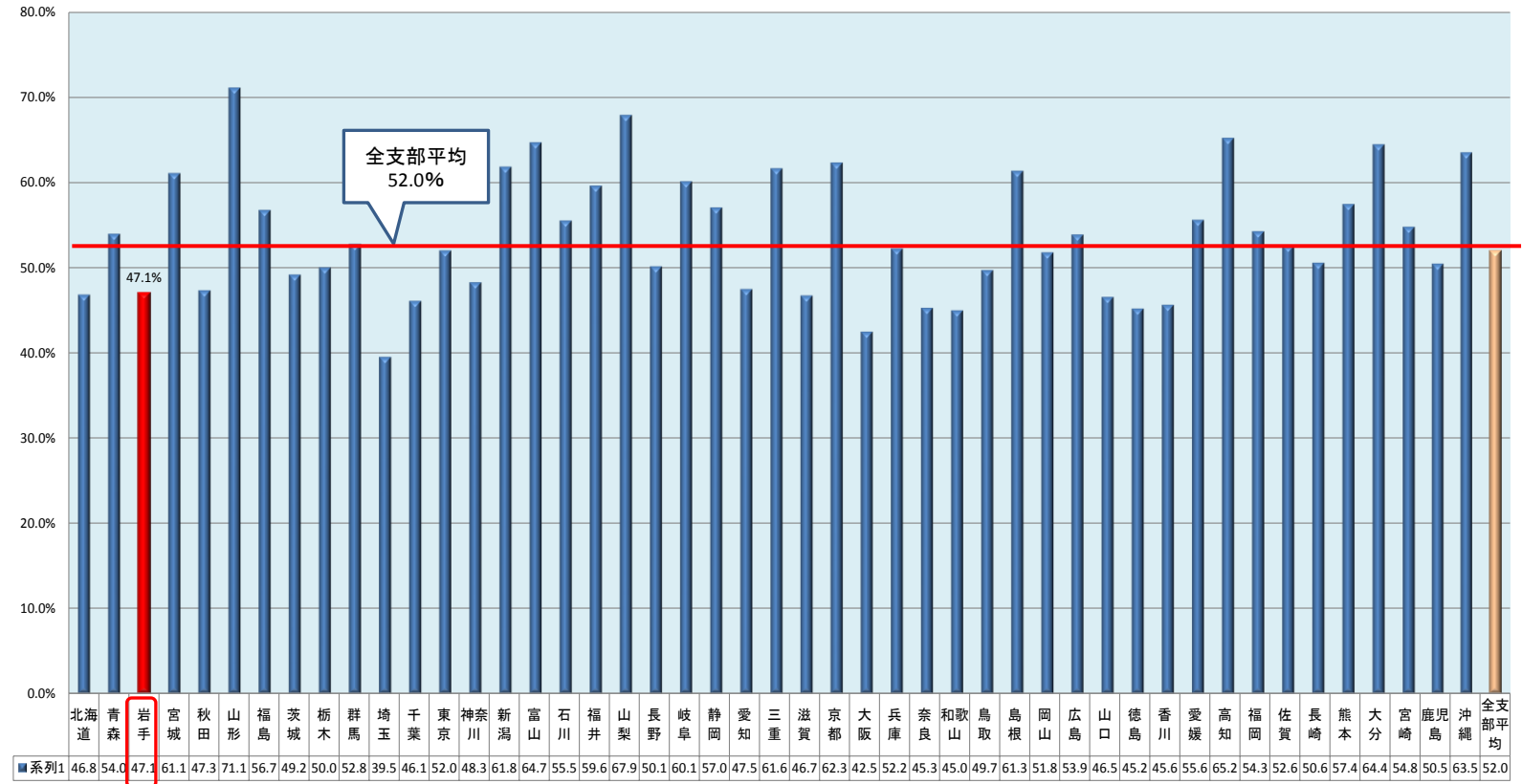
# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 1. 生活習慣病予防健診（つづき）

### ●平成28年度 生活習慣病予防健診実施率の支部間比較[※国報告]

※東北における実施率

支部名	実施率
岩手	47.1%
青森	54.0%
宮城	61.1%
秋田	47.3%
山形	71.1%
福島	56.7%
全支部合計	52.0%



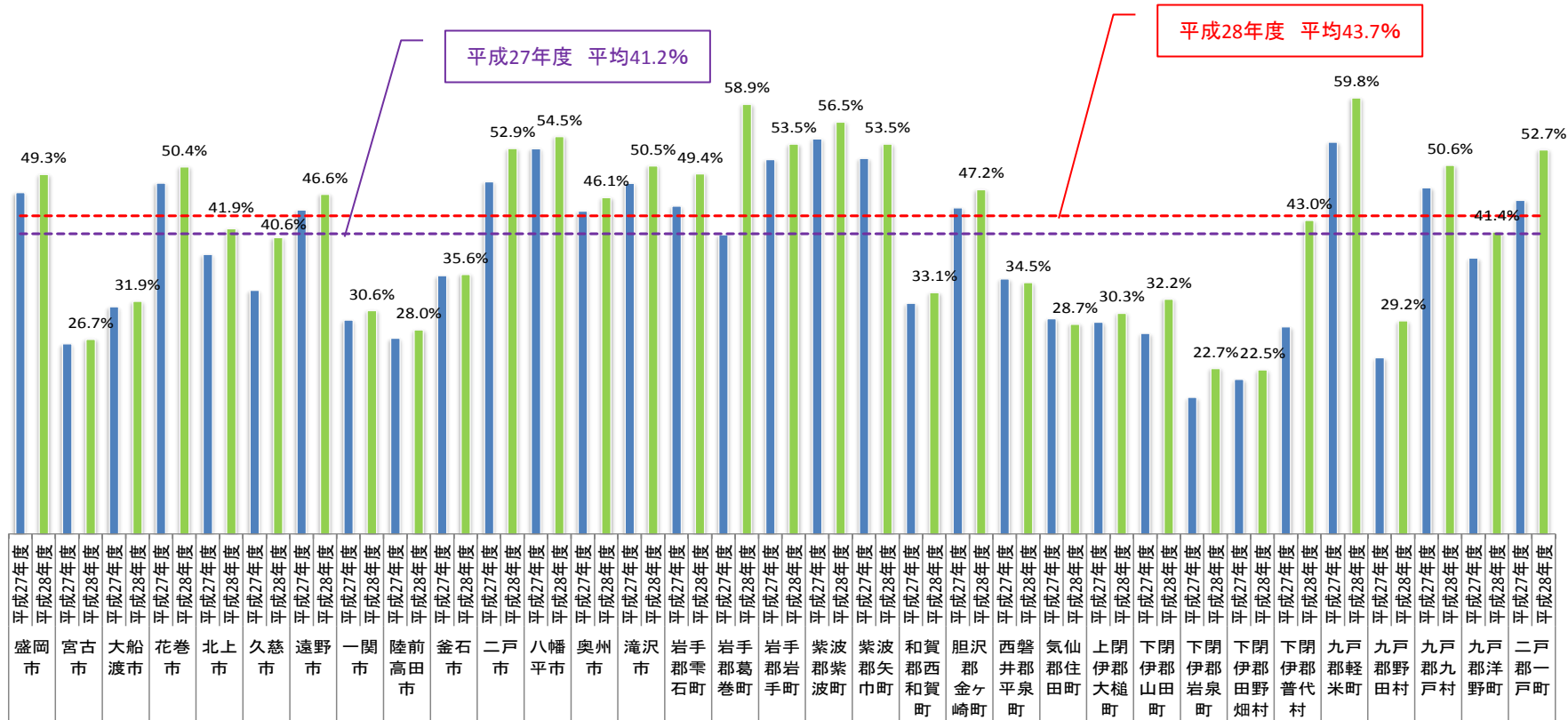
岩手支部における、生活習慣病予防健診の受診率（47.1%）は、東北の中では最下位。また、全国平均（52.0%）と比較しても低い状況にあります。（全国37位）



# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 1. 生活習慣病予防健診（つづき）

### ●生活習慣病予防健診 市町村別受診率（H27-28年度）



### 参考：40歳以上74歳未満の被保険者数

盛岡市	宮古市	大船渡市	花巻市	北上市	久慈市	遠野市	一関市	陸前高田市	釜石市	二戸市
32,221	6,897	5,944	12,467	9,541	4,633	3,776	14,110	2,741	4,060	3,688
八幡平市	奥州市	滝沢市	岩手郡雫石町	岩手郡葛巻町	岩手郡岩手町	紫波郡紫波町	紫波郡矢巾町	和賀郡西和賀町	胆沢郡金ヶ崎町	西磐井郡平泉町
3,816	14,508	6,351	2,187	826	1,893	4,118	3,328	801	1,484	914
気仙郡住田町	上閉伊郡大槌町	下閉伊郡山田町	下閉伊郡岩泉町	下閉伊郡田野畑村	下閉伊郡普代村	九戸郡軽米町	九戸郡野田村	九戸郡九戸村	九戸郡洋野町	二戸郡一戸町
901	1,586	1,997	1,428	596	367	1,042	541	898	1,362	1,758

●使用データ：平成27年、28年度健診受診者リスト 平成28年度郵便番号加入者リスト

●被保険者数は平成28年度郵便番号加入者リストから算出

●表示しているパーセンテージは平成28年度のもの

●受診率＝受診者数÷40歳以上74歳未満の被保険者数

対象者数(H28)  
152,779人

受診者数(H28)  
66,690人

# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 1. 生活習慣病予防健診（つづき）

### 【岩手支部における生活習慣病予防健診を実施するにあたっての課題】

⇒年々、実施件数は増加しており、年度目標も達成しているが、支部間比較では、全支部平均より下回っており、また、東北の支部の中では最下位。

▶ 今後さらに実施数を増加させる上では、以下の課題が挙げられる。

#### ● 労働安全衛生法に基づく事業者健診（定期健診）から、生活習慣病予防健診への切り替えのさらなる促進

《切替え困難と考えられる理由》

- ・毎年度、事業者健診を受診しており、これまでと同じ健診を受診すれば良い、という意識を持っていると考えられること。
- ・産業医を依頼している医師の医療機関で事業者健診を受診しているため、産業医との関係から切り替えることが困難。
- ・生活習慣病予防健診の制度自体は知られてきているが、申し込み方法が煩雑との意見がある。

（※インターネットでの申込みが可能であるが、健康保険委員アンケートによると、24%の認知度にとどまっている。）

#### 【岩手支部における対策】

- ・生活習慣病予防健診実施機関に対し、会議や実地調査等において、事業者健診申し込み事業所に対し、切り替え勧奨を実施するよう、依頼。
- ・事業所訪問の際に、事業者健診を受診している場合、もしくは生活習慣病予防健診の受診者の割合が低い事業所に対し、切り替えの勧奨を実施。

#### ● 地域による生活習慣病予防健診実施機関の配置の偏在による、受診率の地域差

- ・県北、沿岸地域では、生活習慣病予防健診実施機関が少なく、県南地域（特に一関市）では、実施機関はあるものの受け入れ枠が少ない。

#### 【岩手支部における対策】

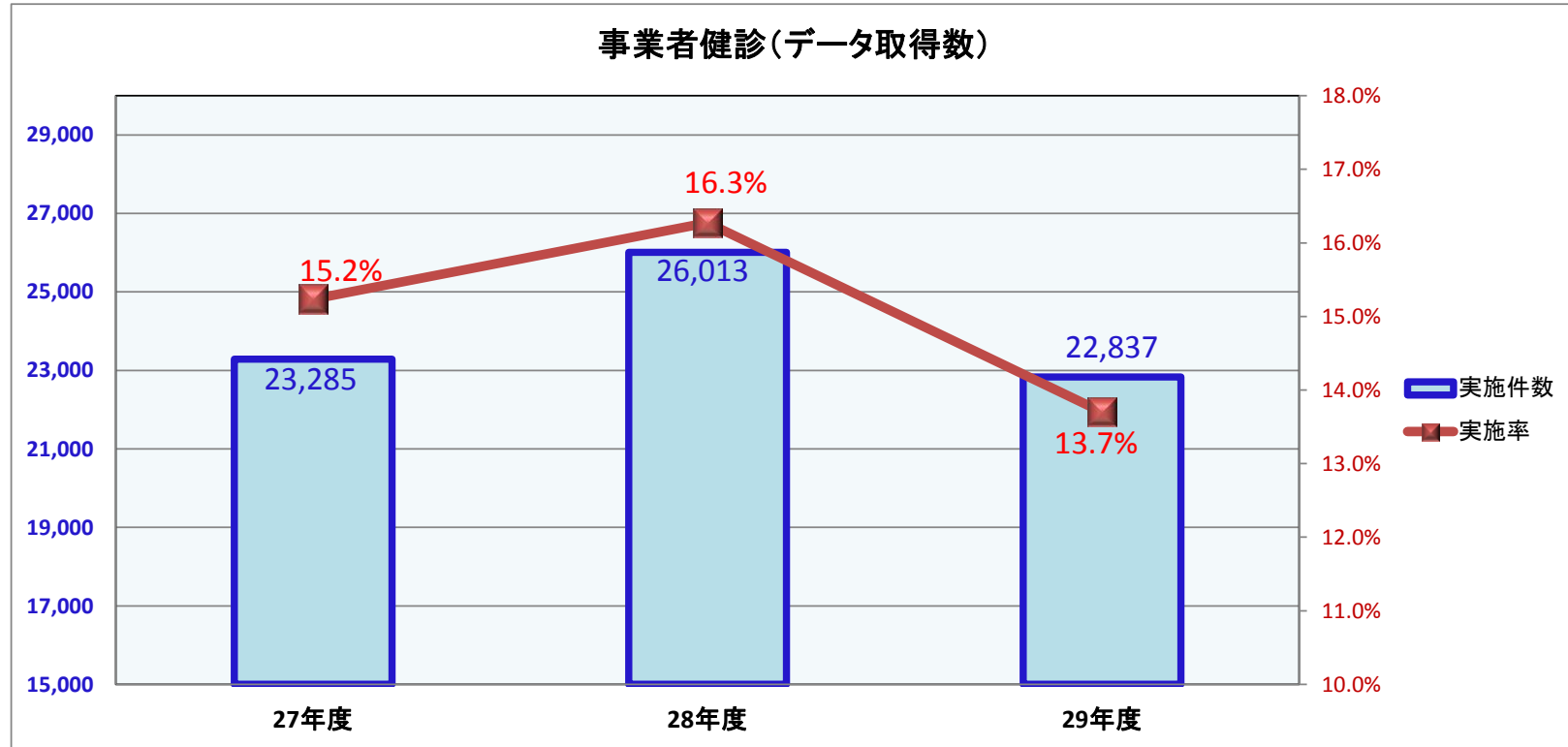
- ・県内の20床以上の医療機関（病院）、60機関に対し、生活習慣病予防健診の実施要請を行う予定。

# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 2. 事業者健診

### ●事業者健診（結果取得状況）の年次推移

年度	対象者数	目標数	実施件数	実施率	目標達成率
27年度	152,832	38,500	23,285	15.2%	60.5%
28年度	159,843	46,800	26,013	16.3%	55.6%
29年度	166,686	50,200	22,837	13.7%	45.5%



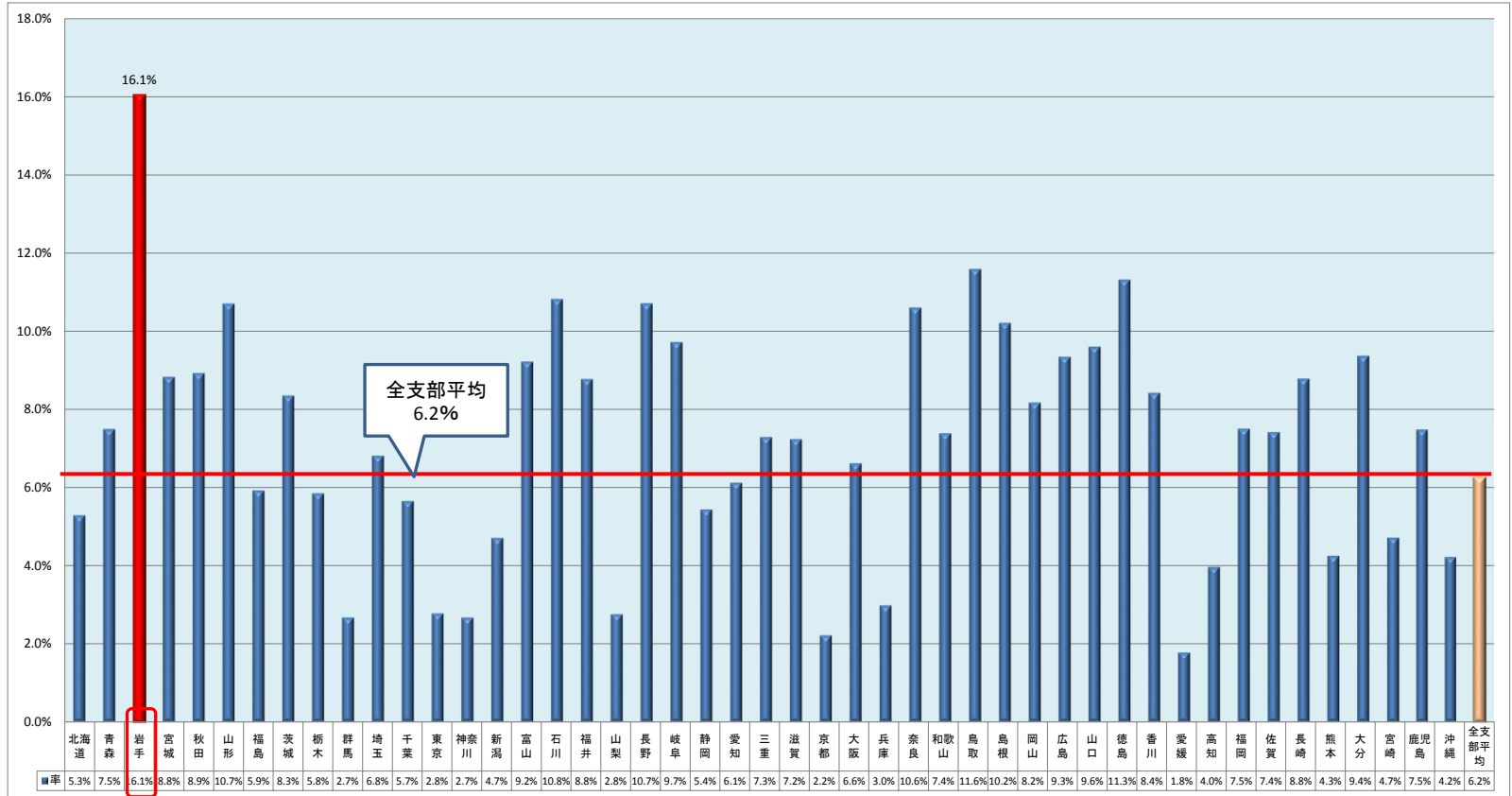
# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 2. 事業者健診（つづき）

### ●平成28年度 事業者健診取得率の支部間比較[※国報告]

※東北における取得率

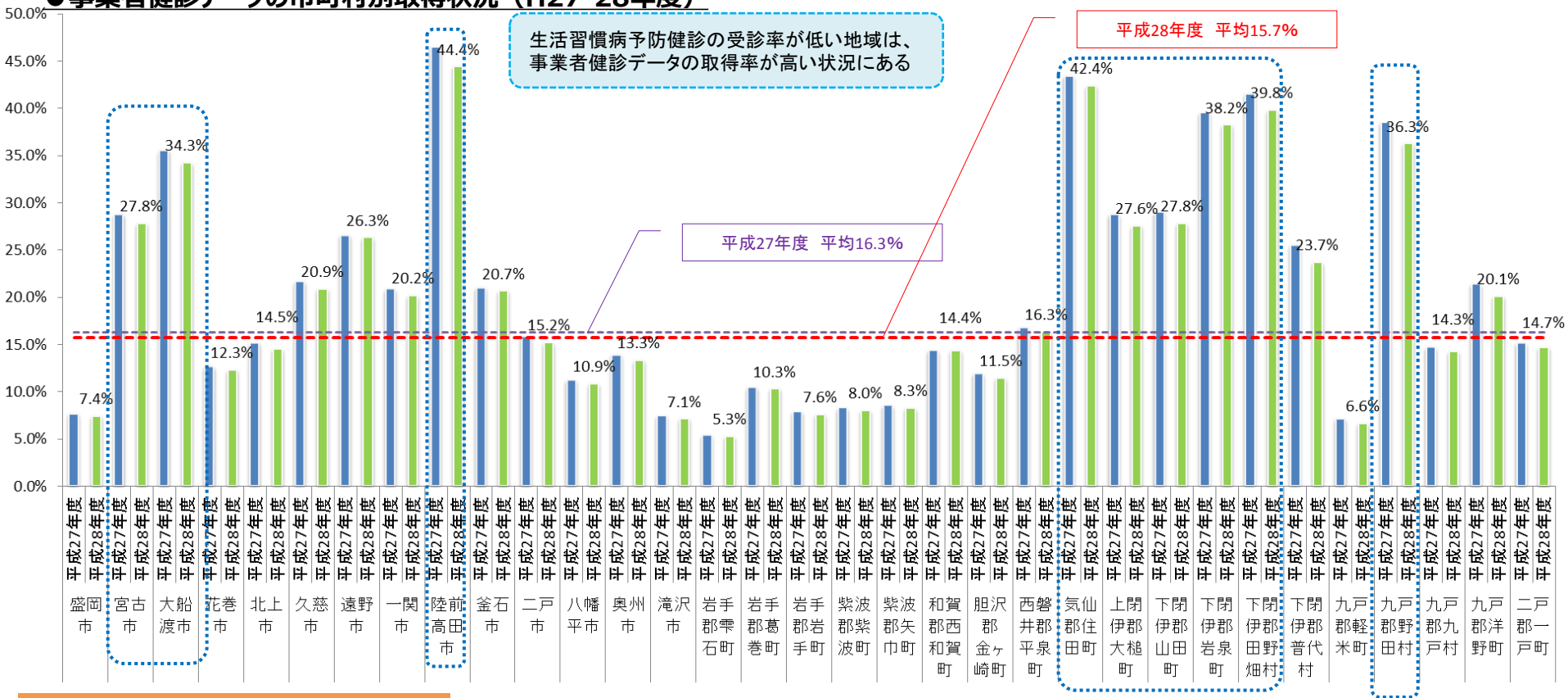
支部名	実施率
岩手	16.1%
青森	7.5%
宮城	8.8%
秋田	8.9%
山形	10.7%
福島	5.9%
全支部合計	6.2%



# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 2. 事業者健診（つづき）

●事業者健診データの市町村別取得状況（H27-28年度）



参考：40歳以上74歳未満の被保険者数

盛岡市	宮古市	大船渡市	花巻市	北上市	久慈市	遠野市	一関市	陸前高田市	釜石市	二戸市
32,221	6,897	5,944	12,467	9,541	4,633	3,776	14,110	2,741	4,060	3,688
八幡平市	奥州市	滝沢市	岩手郡雫石町	岩手郡葛巻町	岩手郡岩手町	紫波郡紫波町	紫波郡矢巾町	和賀郡西和賀町	胆沢郡金ヶ崎町	西磐井郡平泉町
3,816	14,508	6,351	2,187	826	1,893	4,118	3,328	801	1,484	914
気仙郡住田町	上閉伊郡大槌町	下閉伊郡山田町	下閉伊郡岩泉町	下閉伊郡田野畑村	下閉伊郡普代村	九戸郡軽米町	九戸郡野田村	九戸郡九戸村	九戸郡洋野町	二戸郡一戸町
901	1,586	1,997	1,428	596	367	1,042	541	898	1,362	1,758

●使用データ：平成28年度特定健診受診者リスト、平成28年度郵便番号加入者リスト  
 ●40歳以上の被保険者数は、年度平均被保険者数

対象者数(H28)  
152,779人

取得者数(H28)  
24,041人

# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 2. 事業者健診（つづき）

### 【岩手支部における事業者健診の実施（結果の取得）における課題】

- 支部間比較においては、取得率は全国1位だが、平成29年度の取得状況は28年度と比較し大幅に減少。
- 減少しているということは、生活習慣病予防健診への切り替えが進んでいるとも言えるが、事業者健診結果データの取得数が多い（比率が大きい）岩手支部において、健診全体の受診率の底上げを図るには、事業者健診結果をなるべく多く取得することが大切である。

▶ **今後、取得率を向上させるためには、以下の課題が挙げられる。**

#### ● 事業者健診結果データ作成・提供契約締結健診機関の増加

・現在、契約を締結しているのは、6健診機関。さらに多くの健診機関との契約が必要。

##### 【岩手支部における対策】

・生活習慣病予防健診実施機関で、契約未締結の機関に対し、意向確認のアンケートを実施。契約締結の意向がある機関に対し、アプローチを実施。（※その結果、今年度においては新たに1機関と契約を締結。また、現在も複数の機関と交渉中。）

・岩手県外の健診機関で、岩手支部加入事業所の事業者健診受診が多い健診機関に対し、契約締結の交渉を行い、9月より新たに宮城県の1機関と契約を締結。

#### ● 事業所からの事業者健診結果の直接取得の推進

・上記契約機関で以外で事業者健診を受診している事業所の場合、その結果を取得するには、事業所からその結果の写しをデータ化、もしくは紙ベースで提供してもらわなければならない、いかに多くの事業所から提供いただくことが必要。

##### 【※紙ベースにて提供の際の注意事項】

・特定健診の項目がすべて記載されていない場合があり、データとして活用することができない。

・服薬状況、喫煙状況等が記載されていない健診結果が多く、独自で質問票により確認しなければならない。等

⇒事業所からの直接取得の際のネックとなっている。

##### 【岩手支部における対策】

・労働局と支部長の連名文書により、岩手支部加入事業所に対し、事業者健診結果提供にかかる同意書もしくは事業者健診結果の写しの提供勧奨を実施。

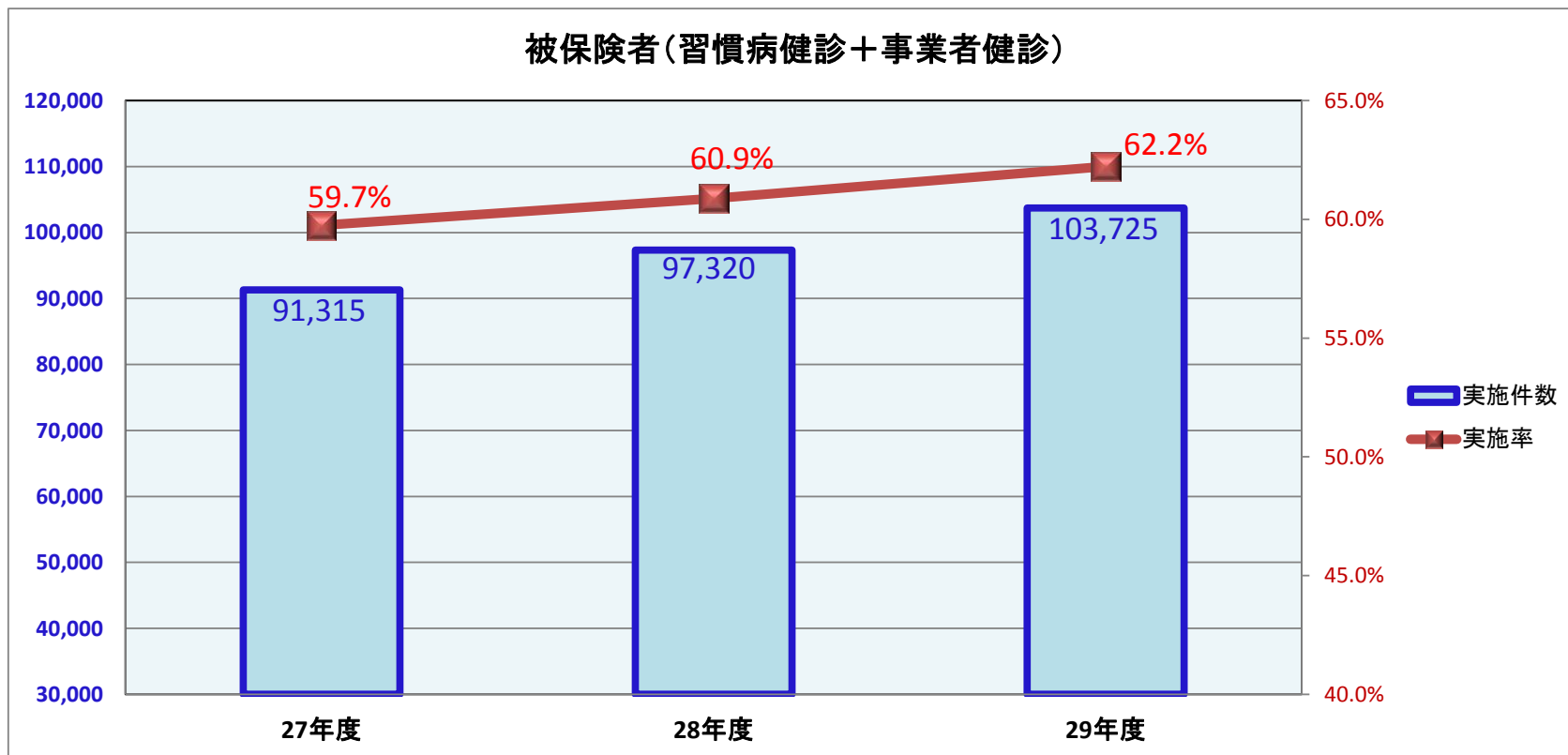
・社会保険労務士会と契約を締結し、社会保険労務士が担当事業所を直接訪問し、事業者健診結果提供にかかる同意書もしくは事業者健診結果の写しの提供勧奨を実施。

# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 3. 被保険者合計（生活習慣病予防健診＋事業者健診）

### ●被保険者の健診実施状況（生活習慣病予防健診＋事業者健診）の年次推移

年度	対象者数	目標数	実施件数	実施率	目標達成率
27年度	152,832	105,500	91,315	59.7%	86.6%
28年度	159,843	117,600	97,320	60.9%	82.8%
29年度	166,686	128,980	103,725	62.2%	80.4%



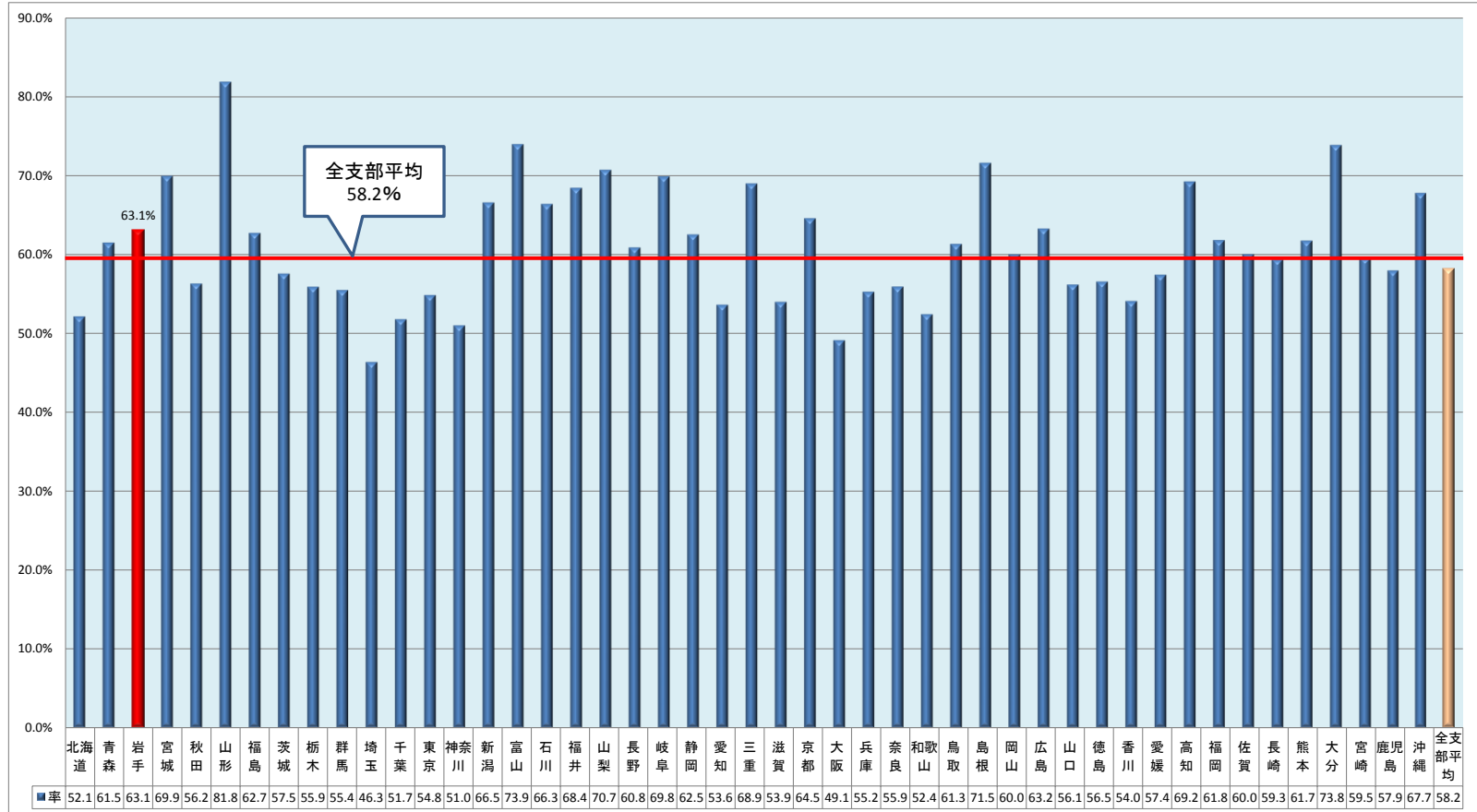
# I 被保険者（40歳以上）の健康診断

## 3. 被保険者合計（生活習慣病予防健診＋事業者健診）（つづき）

### ●平成28年度 協会けんぽ岩手支部・全国・東北各支部における健診実施率（合計）【※国報告】

※東北における実施率

支部名	実施率
岩手	63.1%
青森	61.5%
宮城	69.9%
秋田	56.2%
山形	81.8%
福島	62.7%
全支部合計	58.2%

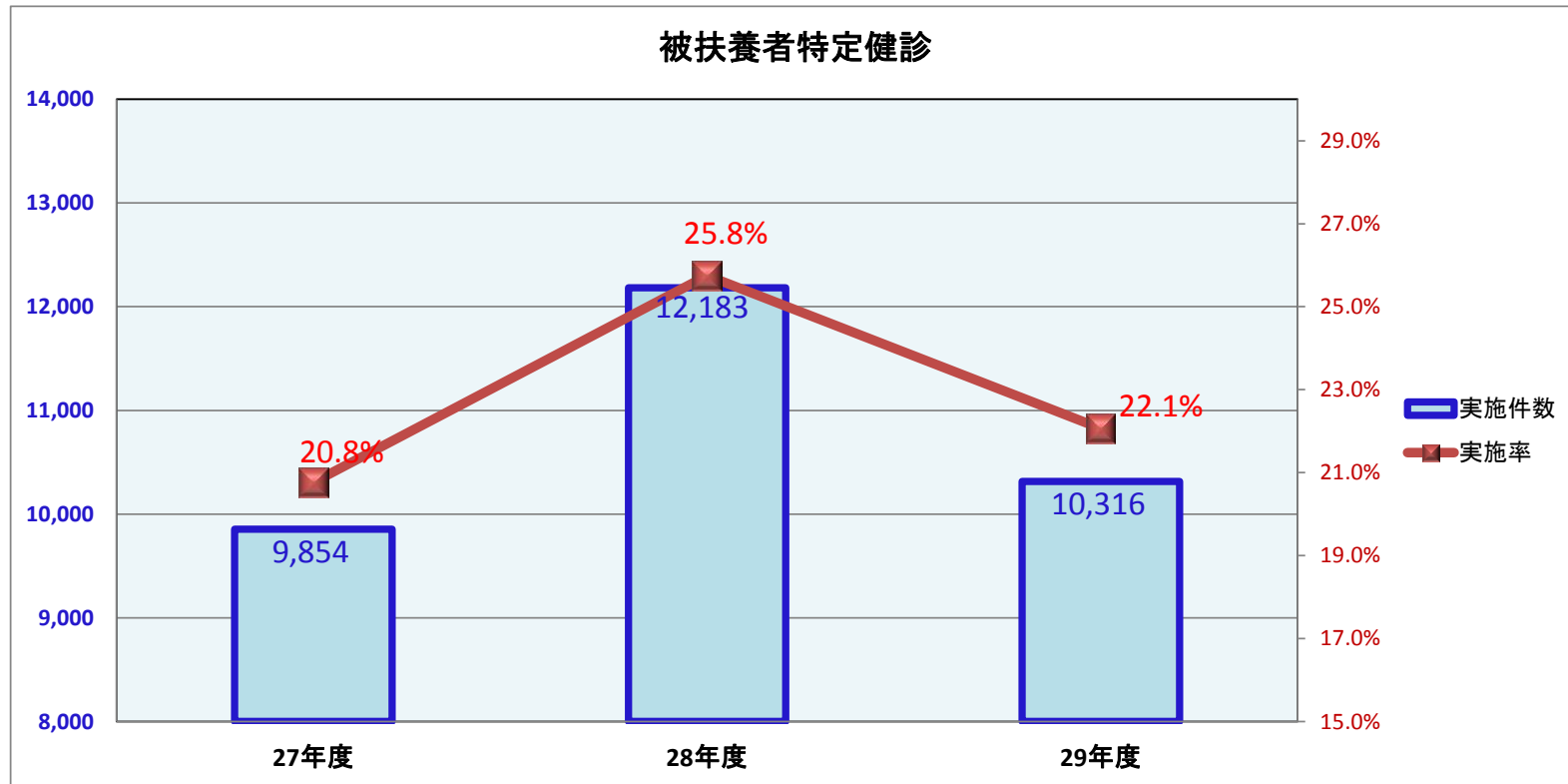




## Ⅱ 被扶養者（40歳以上）の健康診断

### ● 被扶養者特定健診の年次推移

年度	対象者数	目標数	実施件数	実施率	目標達成率
27年度	47,448	10,300	9,854	20.8%	95.7%
28年度	47,307	10,700	12,183	25.8%	113.9%
29年度	46,752	11,150	10,316	22.1%	92.5%

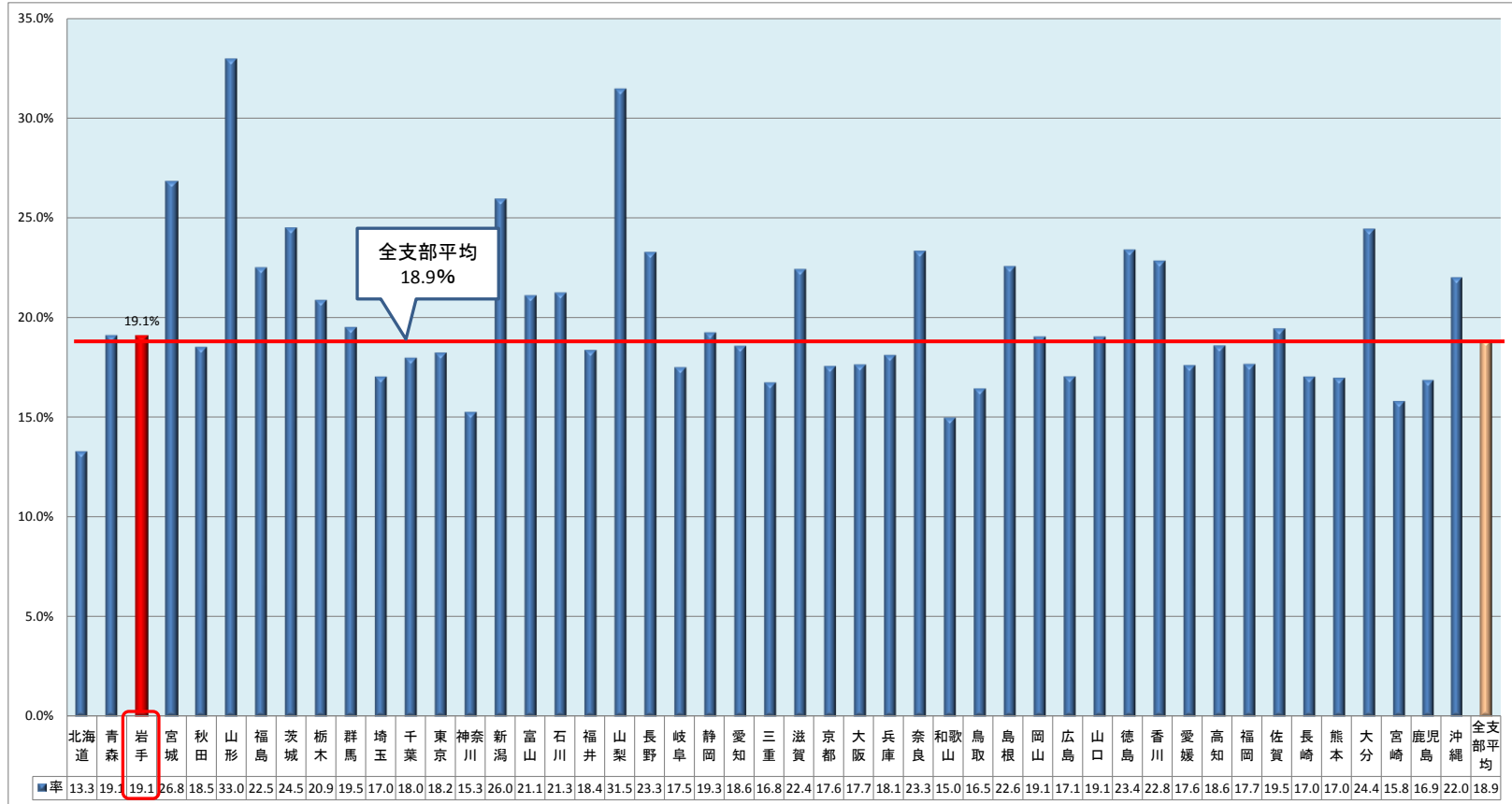


## Ⅱ 被扶養者（40歳以上）の健康診断

●平成28年度 協会けんぽ岩手支部・全国・東北各支部における被扶養者の健診実施率（特定健診）【※国報告】

※東北における実施率

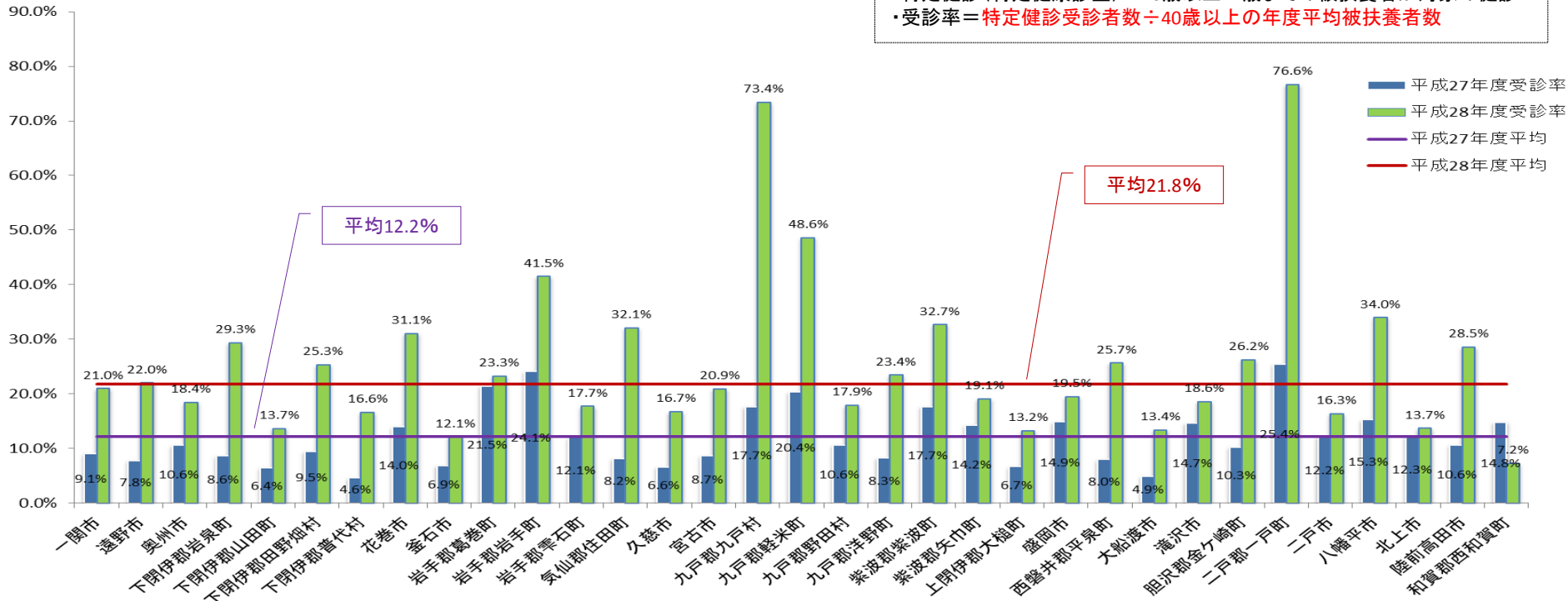
支部名	実施率
岩手	19.1%
青森	19.1%
宮城	26.8%
秋田	18.5%
山形	33.0%
福島	22.5%
全支部合計	18.9%



## Ⅱ 被扶養者（40歳以上）の健康診断

### ●市町村別の特定健診受診率（平成27-28年度）

・特定健診（特定健康診査）＝40歳以上74歳までの被扶養者が対象の健診  
 ・受診率＝特定健診受診者数÷40歳以上の年度平均被扶養者数



参考：平成28年度 市町村別の40歳以上被扶養者数(人)

一関市	遠野市	奥州市	下閉伊郡岩泉町	下閉伊郡山田町	下閉伊郡田野畑村	下閉伊郡普代村	花巻市	釜石市	岩手郡巻町	岩手郡岩手町
4,254	999	4,606	409	637	162	102	3,970	1,261	228	564
岩手郡雫石町	気仙郡住田町	久慈市	宮古市	九戸郡九戸村	九戸郡軽米町	九戸郡野田村	九戸郡洋野町	紫波郡紫波町	紫波郡矢巾町	上閉伊郡大槌町
689	193	1,454	2,241	213	267	167	401	1,457	1,196	514
盛岡市	西磐井郡平泉町	大船渡市	滝沢市	胆沢郡金ヶ崎町	二戸郡一戸町	二戸市	八幡平市	北上市	陸前高田市	和賀郡西和賀町
10,994	269	1,715	2,527	465	473	962	1,174	2,987	736	207

- 和賀郡西和賀町を除く全ての市町村で平成27年度より平成28年度の受診率が高い。
- 受診率が20%以上上昇した市町村は、下閉伊郡岩泉町(20.7%)、気仙郡住田町(44.6%)、九戸郡九戸村(55.7%)、二戸郡一戸町(51.2%)の4町村であり、九戸郡九戸村の上昇率が最も高い。

●使用データ：平成27、28年度特定健診（事業者健診）受診者リスト、平成27、28年度郵便番号別加入者基本情報（※住所不明者を除く、岩手県の居住者をもとに集計）

## Ⅱ 被扶養者（40歳以上）の健康診断

### 【岩手支部における被扶養者の健康診断を実施するにあたっての課題】

- 平成29年度においては、28年度より大幅に実施件数が減少。目標数も達成することが出来なかった。
- 支部間比較においても、全支部平均は若干上回るものの、東北の中では秋田支部に次いで2番目に低い状況。

▶ **今後、取得率を向上させるためには、以下の課題が挙げられる。**

#### ● 本人の健診受診に対する意識の低さ

- ・以前は、受診券を事業所宛に郵送し、事業所から被保険者経由で被扶養者に配布していたが、今は被扶養者の自宅に直送となり、受診するかどうかは被扶養者本人の意識による部分が大きくなっている。

#### 【岩手支部における対策】

- ・未受診者に対し、受診勧奨のダイレクトメールを送付。

#### ● 特定健診の項目の少なさ

- 「参考」…一戸町では、28年度から町で費用補助を行っており、受診率が格段に上がっている。市町村ぐるみで取り組みを行えば、受診率が伸びる。
  - 項目の少なさをカバーできる取り組みが必要。

#### ● 市町村の集団健診の会場で受診が可能であることの周知

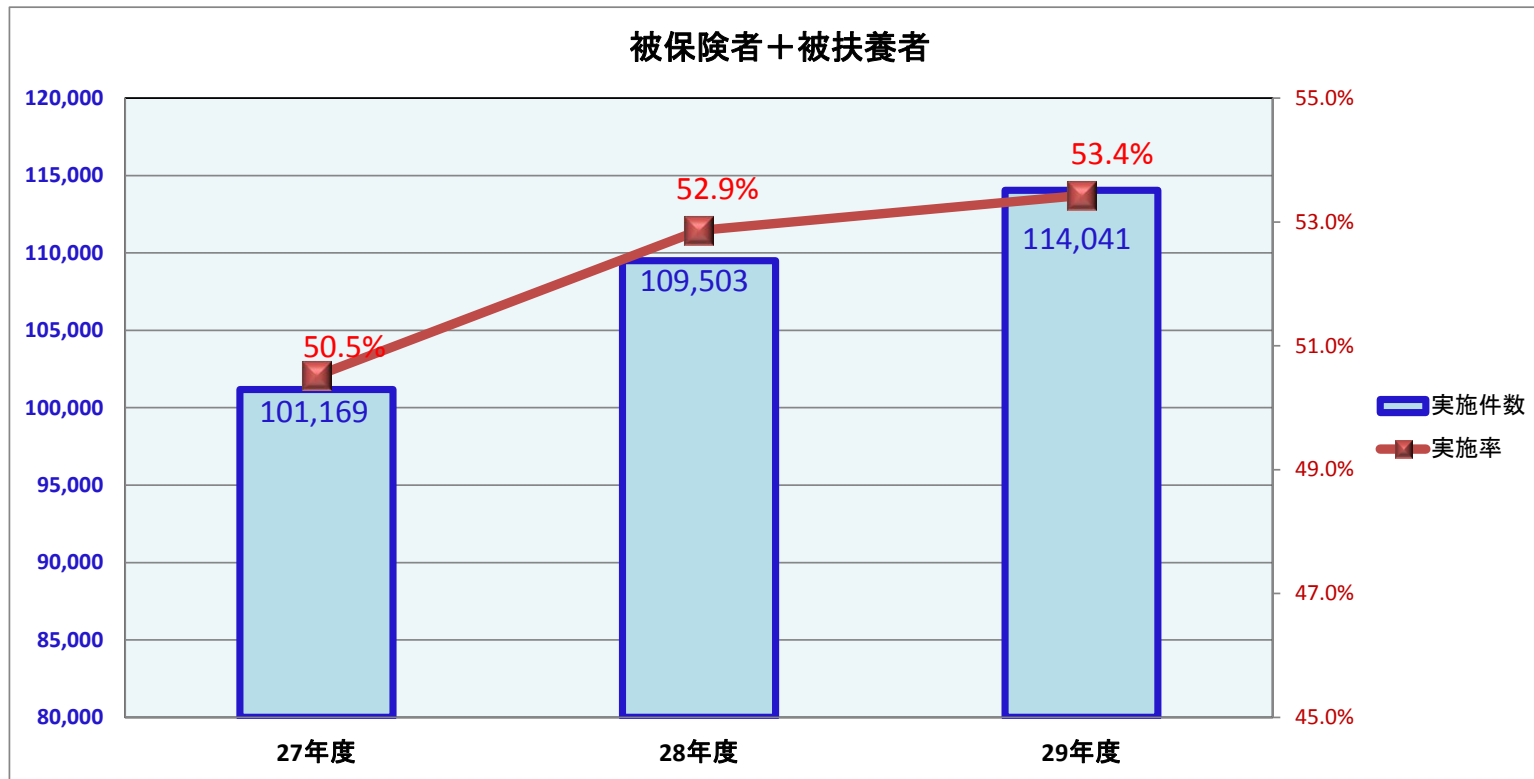
#### 【岩手支部における対策】

- ・市町村が実施する集団健診の会場での、協会けんぽの被扶養者の方の受診を促すため、集団健診の開催時期に合わせて、今年度から案内はがきを送付。
- ・集団健診を実施していない市町村をカバーするために、実施していない市町村及び未受診者が多い市町村の被扶養者に対して、支部独自の集団健診を実施。

### Ⅲ 被保険者＋被扶養者合計（40歳以上）

#### ● 被保険者＋被扶養者合計の年次推移

年度	対象者数	目標数	実施件数	実施率	目標達成率
27年度	200,280	115,800	101,169	50.5%	87.4%
28年度	207,150	128,300	109,503	52.9%	85.3%
29年度	213,438	140,130	114,041	53.4%	81.4%

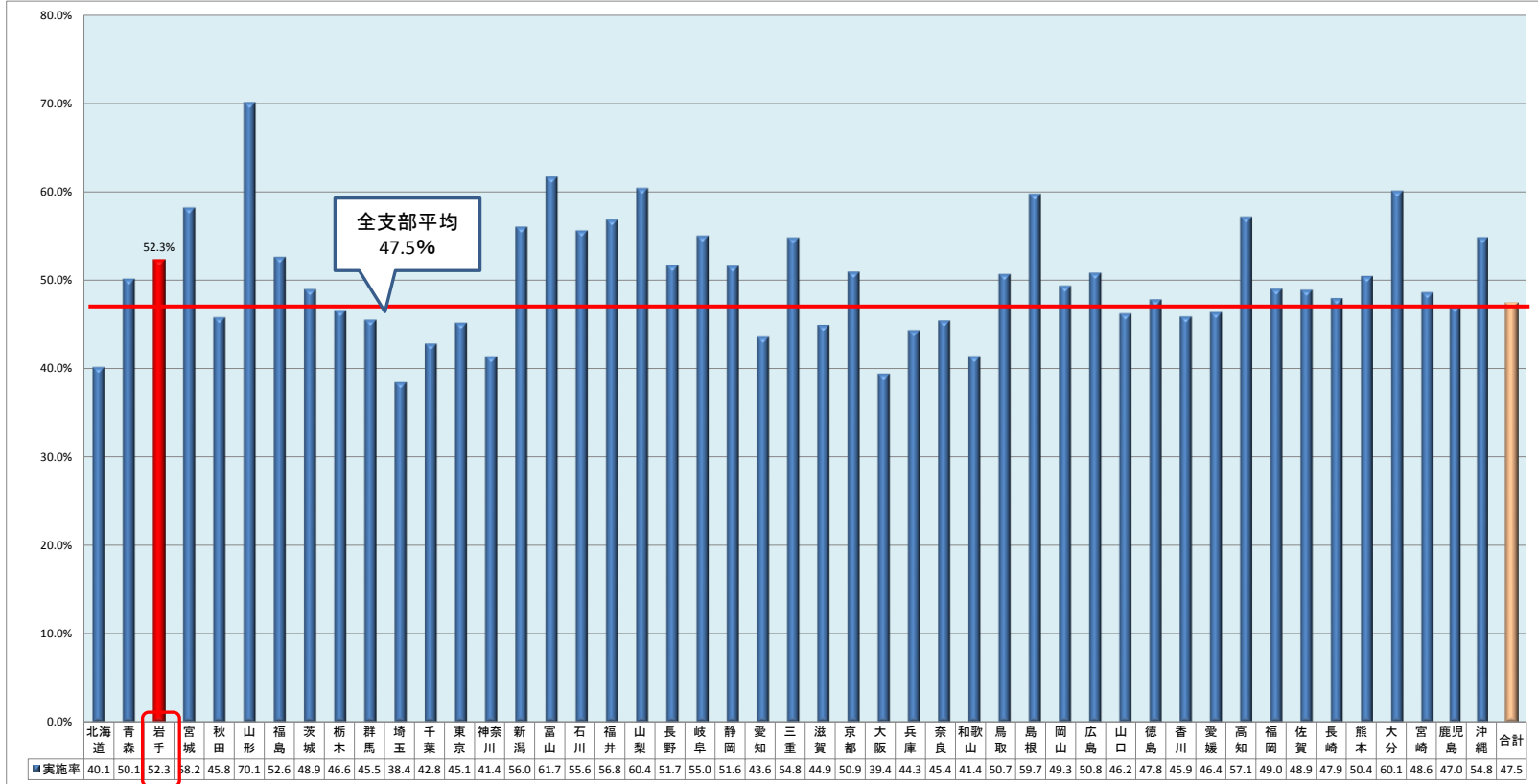


# Ⅲ 被保険者 + 被扶養者合計（40歳以上）

●平成28年度 協会けんぽ岩手支部・全国・東北各支部における被保険者 + 被扶養者合計の健診実施率（特定健診） [※国報告]

※東北における実施率

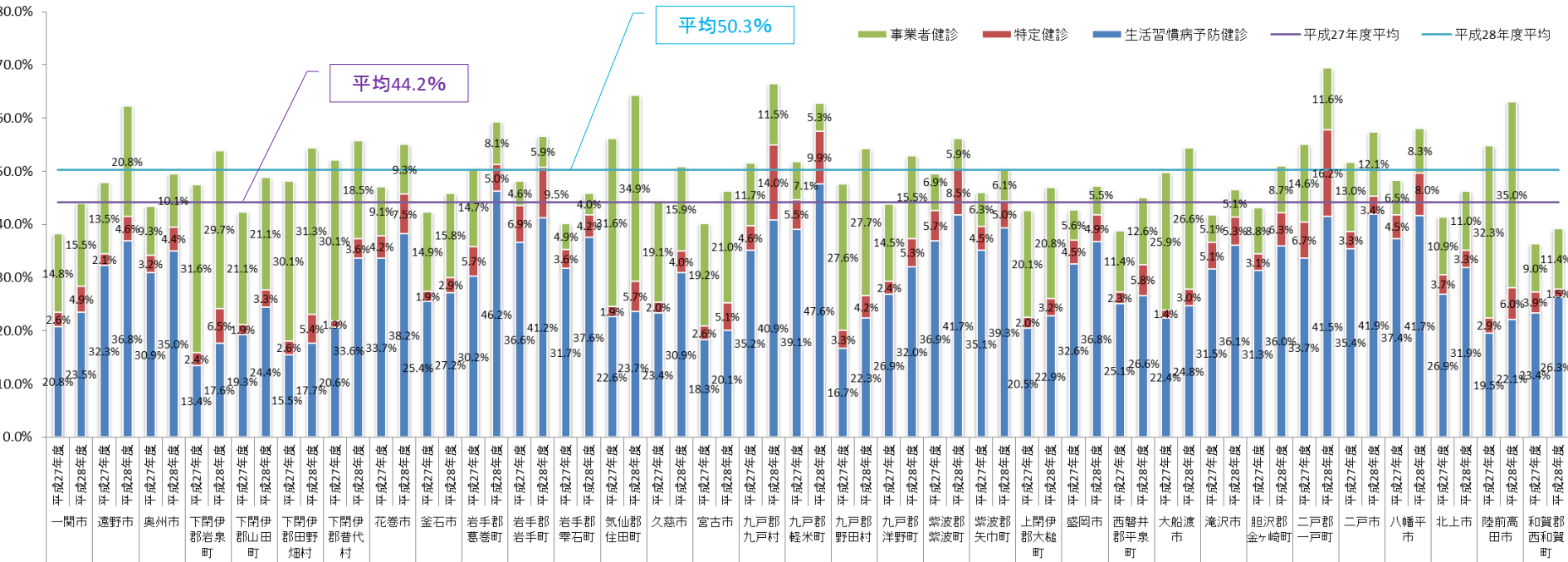
支部名	実施率
岩手	52.3%
青森	50.1%
宮城	58.2%
秋田	45.8%
山形	70.1%
福島	52.6%
全支部合計	47.5%



# Ⅲ 被保険者＋被扶養者合計（40歳以上）

## ●被保険者＋被扶養者合計の市町村別健診受診率（平成27－28年度）

・生活習慣病予防健診＝35歳以上74歳までの被保険者が対象の健診  
 ・特定健診＝40歳以上74歳までの被扶養者が対象の健診  
 ・事業者健診データ＝40歳以上74歳までの被保険者が対象の健診（協会けんぽにデータ提供している事業所に限る）  
 ・健診受診率＝各健診受診者数÷40歳以上74歳までの加入者数



参考：平成28年度 市町村別 40歳以上74歳までの加入者数（人）

一関市	遠野市	奥州市	下閉伊郡岩泉町	下閉伊郡山田町	下閉伊郡田野畑村	下閉伊郡普代村	花巻市	釜石市	岩手郡葛巻町	岩手郡岩手町
18,364	4,775	19,114	1,837	2,634	758	470	16,437	5,322	1,054	2,457
岩手郡雫石町	気仙郡住田町	久慈市	宮古市	九戸郡九戸村	九戸郡軽米町	九戸郡野田村	九戸郡洋野町	紫波郡紫波町	紫波郡矢巾町	上閉伊郡大槌町
2,876	1,094	6,086	9,139	1,111	1,309	708	1,763	5,576	4,524	2,100
盛岡市	西磐井郡平泉町	大船渡市	滝沢市	胆沢郡金ヶ崎町	二戸郡一戸町	二戸市	八幡平市	北上市	陸前高田市	和賀郡西和賀町
43,215	1,183	7,660	8,877	1,950	2,230	4,650	4,990	12,528	3,477	1,008

- すべての市町村で平成28年度の受診率が平成27年度の受診率を上回っている。
- 平成27年度と平成28年度の両方で受診率が平均以上となっているのは、遠野市、下閉伊郡岩泉町、下閉伊郡田野畑村、下閉伊郡普代村、花巻市など16市町村である。
- 平成27年度と平成28年度の両方で受診率が平均以下となっているのは、一関市、西和賀郡西和賀町である。

●使用データ：平成27、28年度事業所情報リスト（※住所不明者を除く、岩手県の居住者をもとに集計）